

【埼玉大学理系女性研究者の会(仮称)を立ち上げました】

埼玉大学理系女性研究者の会（仮称）第1回を10月24日15時～17時、埼玉大学総合研究棟で開催しました。工学部4名、理学部6名、教育学部（理工学研究科兼任を含む）3名、総勢13名の理工系女性教員と男女共同参画室担当副学長が集いました。内3名が助教、7名が准教授、3名が教授と、年齢構成も様々な研究者たちでした。

自己紹介の後のフリートークでは、出産子育て・介護といったライフイベントに際しての教職員支援に関する話題に多くの時間が割かれました。現在子育て中の教職員の方々のニーズに応える多様な支援策の実現が急務であること、同時に、学内の男女共同参画に関する意識改革の重要性が車の両輪のごとく重要であることが共有されました。

また、出産子育てしながら、自分の研究を進める大変さや焦りは、男性研究者にはなかなか共感しづらいことかもしれませんが、理解を示しサポートを行っている「ナイスなボスたち」が存在することも確認され、励まされました。

そのほか、「女性研究者の登用・昇任に関して『ガラスの天井』は存在するか?」「セクハラ防止研修会をすべての男性教員対象に行うことができるか?」といったことにも話題が広がりました。

理系女性研究者の会第1回は充実したディスカッションのひと時となりました。これを持って、埼玉大学理系女性研究者の会の立ち上げとし、今後、女性研究者同士連帯し、埼玉大学の男女共同参画、ダイバーシティ研究環境実現に向けて知恵を合わせていくこととなりました。

